

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	葉の着正角度	10株	観察				立	やや立	中	やや開	開			出らい(蕾)期に調査する
2	草姿高	10株	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										出らい期に立毛の最高部までの高さを測定する
3	茎の長さ	10株	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										出らい期に茎基部より花らい球までの長さを調査する
4	葉長	10株	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										出らい期に最大葉で調査する
5	葉色	10株	観察				淡緑	やや淡緑	緑	やや濃緑	濃緑			出らい期に最大葉で判定する
6	花らい球の形状	10球	観察		扁平	扁丸	扁尖	平	丸	尖	腰高平	腰高丸	腰高尖	種苗特性分類調査報告書参照
7	花らい球の基本色	10球	観察		白	緑	紫							
8	花らい球の緑の区分	10球	観察			黄緑	やや黄緑	淡緑	やや淡緑	緑	やや濃緑	濃緑		
9	花らい球の紫の区分	10球	観察				淡紫	やや淡紫	紫	やや濃紫	濃紫			アントシアニン色素の濃淡で判定する
10	花らい粒の大きさ	10球	観察				小	やや小	中	やや大	大			
11	花らい球茎の長さ	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										種苗特性分類調査報告書参照
12	側枝花らいの発生	10株	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多			主花らい球以外に茎上部に発生する有効花らい枝を指す
13	収穫期	10株	観察		超極早	極早	早	中早	中	晩	極晩			太平洋岸の一般平坦地の夏まき栽培を標準とする

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	葉幅	10株	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									出らい期の最大葉で調査する		
2	葉縁の波打ち	10株	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多		出らい期の最大葉で判定する		
3	茎の太さ	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									出らい期の茎の最大部分で調査する		
4	側枝の多少	10株	測定	本 (小数第1位を四捨五入)									収穫期に茎基部に発生する側枝数を調査する		
5	総葉数	10株	測定	枚 (小数第1位を四捨五入)									収穫期に調査する		
6	葉形	10株	観察		線形	皮針形	倒皮針形	長卵形	倒長卵形	卵形	倒卵形	楕円形	出らい期に葉全体の輪郭として判定する 種苗特性分類調査報告書参照		
7	葉先の形	10株	観察				尖	やや尖	中	やや丸	丸	出らい期に最大葉で判定する			
8	葉のわん曲	10株	観察				凹面	やや凹面	平面	やや凸面	凸面	出らい期に最大葉の中央横断面で判定する			
9	葉縁の切れ込み	10株	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	出らい期に最大葉で判定する			
10	葉の色素	10株	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	出らい期にアントシアニン色素の濃淡で判定する			
11	ろう質	10株	観察	無			少	やや少	中	やや多	多	出らい期に葉表面で判定する			
12	花らい表面の凹凸	10株	観察				少	やや少	中	やや多	多	収穫期に判定する			
13	花らい球径	10球	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									茎中央の主花らいについて調査する		
14	花らい球高	10球	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									茎中央の主花らいについて調査する		
15	花らい球の渦巻形成	10球	観察				不鮮明	やや不鮮明	中	やや鮮明	鮮明				
16	花らい球茎の太さ	10球	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									種苗特性分類調査報告書参照		

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
17	花らい球茎の色	10球	観察		帯紫	帯紫 ～白	白	白 ～淡 緑	淡緑	淡緑 ～緑	緑				
18	花らい球茎の硬さ	10株	官能検査				軟	やや 軟	中	やや 硬	硬			茎外側の繊維質(すじ)を収穫時切断部位で判定する	
19	収穫期の花らいの位置	10株	観察				出な い	やや 出な い	中	やや 出る	出る			外葉に対する花らいの上下位置関係を示す 種苗特性分類調査報告書参照	
20	花らい球内茎断面の緑色度	10球	観察			極淡 緑	より 淡緑	淡緑	やや 淡緑	中緑	やや 緑	緑		茎の縦断面で判定する	
21	茎の空洞の発生	10株	観察				少	やや 少	中	やや 多	多			収穫時の茎切断部位で判定する	

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)	2次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	リーフィーの発生	20株	観察				少	やや 少	中	やや 多	多			
2	花らい粒の早期開花	20株	観察				少	やや 少	中	やや 多	多			花らいの一部で早期開花が起る場合を指す
3	花芽分化温度	20株	観察			低	中低 ～低	中低	中	中高	中高 ～高	高		高:22°C前後,中高:17°C前後,中低:13°C前後,低:5°C前後, (目安としての最低平均気温)
4	萎黄病抵抗性	20株	観察				低	やや 低	中	やや 高	高			自然発病又は人工接種で判定する
5	黒腐病抵抗性	20株	観察				低	やや 低	中	やや 高	高			自然発病又は人工接種で判定する

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	ボトニングの発生	20株	観察				少	やや少	中	やや多	多			
2	耐寒性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			冬季の葉の寒害(枯れ込みなど)で判定する
3	低温肥大性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			秋冬季の花らい球の発育程度で判定する
4	耐暑性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			高温期の茎葉や花らいの発育を総合して判定する
5	耐湿性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			多湿土壌条件におかれた際の株の弱り具合で判定する
6	耐乾性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			乾燥土壌条件におかれた際の株の弱り具合で判定する
7	秋まき性	20株	観察	無									有	太平洋岸の一般平坦地の10~11月まき栽培を指す
8	春まき性	20株	観察	無									有	太平洋岸の一般平坦地の1~3月まき栽培を指す
9	B ₀ 欠乏症	30株	観察				出易い	やや出易い	中	やや出難い	出難い			自然発生程度で判定する
10	Mo欠乏症	30株	観察				出易い	やや出易い	中	やや出難い	出難い			自然発生程度で判定する
11	べと病抵抗性	30株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発生程度で判定する
12	コナガ抵抗性	30株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発生程度で判定する

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)	3次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	花らい球重	10株	測定	g (小数第1位を四捨五入)										収穫適期の一株当たり全花らい球の重さを測定する

作物の種類		ブロッコリー		108(08013)	3次選択項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	側枝花らいの収量	10株	測定	g (小数第1位を四捨五入)										一株当たりの側枝の花らい球重を測定する
2	花らい球の日持ち性	10球	観察				低	やや 低	中	やや 高	高			花らいの緑の退色・黄化の程度などで判定する
3	品質	10球	観察				劣	やや 劣	中	やや 優	優			花らい球の色、形、しまり、肉の厚さなどを総合して判定する